

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
外傷予防							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	1年	前期	山中 直樹		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			実技	2	21	
科目概要							
柔道整復の基礎技術を身に付ける。 主に、競技者の特徴やトレーナーとしての役割、また、日常臨床の場において遭遇することの多い代表的な外傷等について学び、外傷予防技術の基礎を理解し、実施することができる。							
目標							
一般目標 (GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	この科目の目標は、主に競技者の特徴やトレーナーとしての役割、また日常臨床の場において遭遇することの多い外傷等について学び、その予防技術の基礎を身につけることである。						
	到達目標 (SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、等級的な指標(合格基準)						
①胸鎖乳突筋・僧帽筋を触診(起始・停止)することができる。ツボを押すことができる。 ②柔道整復技術に東洋医学を応用した頭部へのアプローチができる。ツボを押すことができる。 ③上腕二頭筋・上腕三頭筋を触診(起始・停止)することができる。ツボを押すことができる。 ④柔道整復技術に東洋医学を応用した頭部へのアプローチができる。ツボを押すことができる。 ⑤腰部への吸い玉を正しく安全につけることができる。 ⑥膝下肢への吸い玉を正しく安全につけることができる。 ⑦(全身調整)、ツボを押すことができる。 ⑧下肢の外傷予防(膝)で、前脛骨筋・下腿三頭筋・大腿四頭筋の触診及びツボを押すことができる。 ⑨整形外科領域で遭遇することの多い疾患の外傷予防(上肢)で、正しく触診しツボを押すことができる。 ⑩整形外科領域で遭遇することの多い疾患の外傷予防(下肢)で、正しく触診しツボを押すことができる。 ⑪フレイルの予防①について、正しく指示・実行することができる。 ⑫フレイルの予防②について、正しく指示・実行することができる。							
触診技術 解剖学(筋・骨格系)との連携							
教科書・参考書							
配布プリント							
受講上の注意							
筆記用具を持参し、白衣で受講してしてください。 お互いに協力し、在校中及び卒業後の生活・臨床に使えるよう真摯に取り組むこと。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)				100			100
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	頭の外傷予防技術①「頭周りの筋肉の評価方法、触診方法、筋肉の緊張を取り除く技術」				配布プリント 筆記用具		
第2回	頭の外傷予防技術②「頭部痛へのアプローチ」				配布プリント 筆記用具		
第3回	頭の外傷予防技術①②の練習				配布プリント 筆記用具		
第4回	肩の外傷予防技術①「肩周りの筋肉の評価方法、触診方法、筋の緊張を取り除く技術」 ツボ刺激で肩周りの緊張をとる事ができる」				配布プリント 筆記用具		
第5回	肩の外傷予防技術②「肩部痛へのアプローチ」				配布プリント 筆記用具		
第6回	肩の外傷予防技術①②の練習				配布プリント 筆記用具		
第7回	腰部 吸い玉(つけることができる)				配布プリント 筆記用具		
第8回	膝下肢 吸い玉(つけることができる)				配布プリント 筆記用具		
第9回	練習				配布プリント 筆記用具		
第10回	(全身調整)				配布プリント 筆記用具		
第11回	練習				配布プリント 筆記用具		
第12回	下肢の外傷予防①(膝)				配布プリント 筆記用具		
第13回	下肢の外傷予防②(膝)				配布プリント 筆記用具		
第14回	練習				配布プリント 筆記用具		
第15回	整形外科領域で遭遇することの多い疾患の外傷予防(上肢)				配布プリント 筆記用具		
第16回	整形外科領域で遭遇することの多い疾患の外傷予防(下肢)				配布プリント 筆記用具		
第17回	練習				配布プリント 筆記用具		
第18回	フレイルの予防①(身体的)				配布プリント 筆記用具		
第19回	フレイルの予防②(オーラル)				配布プリント 筆記用具		
第20回	総まとめ①				配布プリント 筆記用具		
第21回	総まとめ②				配布プリント 筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院勤務8年、及び鍼灸師・按摩マッサージ指圧師として自ら開業し12年の実績を含め外傷予防について講義・実技を行います。							
メールアドレス							
yamanaka@nihonisen.ac.jp							